

東日本大震災を受けた建設企業への 金融支援の拡充について

国土交通省総合政策局
建設業課・建設市場整備課 ○ 2

地方・中小建設企業の海外展開支援

国土交通省総合政策局
国際建設市場室 ○ 4

特別企画

建設技術・技能伝承のルーツを訪ねて ～左官発祥・発展地編～ [第2回]

(財)建設業振興基金 ○ 12

●路面電車の軌道敷緑化に関する最新動向について ～まちに広がる緑のカーペット～

(社)日本造園建設業協会
技術調査部長 野村 徹郎 ○ 6

●新連載

●中小建設業・専門工事業の海外展開講座

[第1回] 建設業の海外展開の成功条件
ー海外進出で失敗しないためにー
NPO中小建設業海外活動促進支援会
理事 手塚 大地 ○ 28

●好評連載

●寄稿 わが国建設産業の将来に向けて

[第3回] 建設業者の経営変革
興和不動産投資顧問(株)
顧問 山本 茂 ○ 17

●提唱 自転車利用の増進を目指した エコなまちづくりと発展の可能性 (中)

(株)住信基礎研究所
研究理事 古倉 宗治 ○ 22

●建設関連文学の紹介～建設産業図書館の蔵書から～

[第11回] 杉本 苑子 著
『玉川兄弟 江戸上水ものがたり』
建設産業図書館 江口 知秀 ○ 27

●中小建設業のための元気回復講座

[第19回] 中小建設業者のための
元気回復の方向性
NPO経済活動支援チーム
代表理事・中小企業診断士 高橋 順一 ○ 32

●建設分野をめぐる

全国各地の多角的挑戦レポート

[第4回] 五ヶ井用水と鶴林寺の聖徳太子伝承
～謎の解明に向けた地元学生測量プロジェクト～ (その2)
日刊建設工業新聞社 ○ 36

●シリーズ・建設企業のたゆまめ挑戦

組織コミュニケーションと地域コミュニケーションの向上による事業展開力強化法
[第4回] 受注直前！ お施主様、設計担当者との
コミュニケーションにおける留意点
(株)日本コンサルタントグループ
建設産業システム研究所 所長 加藤 浩之 ○ 40

●これだけは知っておきたい！

基本マナーと一般常識

[第4回] ビジネス文書と電子メール
(有)関西レadiesコーポレーション
ビジネスインストラクター 長尾 裕子 ○ 44

●今月の建設経済

インドの建設市場
(財)建設経済研究所 ○ 46

●地方公共団体の入札契約制度に関する最近の動き

〈平成23年3月～5月〉
国土交通省総合政策局建設業課 入札制度企画指導室 ○ 49

●ケンセツ文化総合研究所

宝物系・光る泥だんご ○ 54

●けんせつ歴史館～1枚の写真から～

日立鉱山大煙突
りんかい日産建設(株) ○ 57

●COLUMN

News Pick Up ○ 52
ひとりごと ○ 56

表紙写真：鹿児島市電の軌道敷緑化（鹿児島県）
ヒートアイランド現象の緩和や街の景観向上を狙い、
路面電車の軌道周辺の緑化に注目が集まっている。
全国で初めて軌道敷の本格的な緑化を行ったのが、
鹿児島市内を約13kmにわたって走る鹿児島市電である。
維持管理の難しい軌道敷緑化であるが、いかに
省メンテナンスで運用していくか、今後の取組みから
も目が離せない。 表紙デザイン：山内 宏一郎

ケンセツ文化総合研究所



光りモノって
なぜだか
心ときめきます

〈ケンセツ〉×〈左官の技と土〉×〈遊び心〉
= 宝物系・光る泥だんご

子どもの頃、土遊びで泥だんごを作った経験が誰しもあるのではないのでしょうか。今回紹介したいのは、子どもから大人まで幅広い世代が夢中になれる“光る泥だんご”。出来上がった輝く球体はまるで大理石の玉のようですが、一定の条件を揃えて土を磨いていくと、球面に顔が映りこむほどに光るのです。

そもそも「光る泥だんご」は「子どもの遊び」の研究に端を発しています。土と水だけで作る手法を考案されたのは、京都教育大学の加用文男教授。テレビなどでも取り上げられ、公園の土でもできることから、幼稚園や保育園などを中心に全国的な広がりを見せた“泥”だんごです。日本泥だんご科学協会なるネットワークもあって、HPを見ると(熱中している人を“泥だんご

病”と呼ぶ)10年以上歴史のある泥だんご界の王道の奥の深さが感じられます。

そして、当研究所が今回リサーチするのは伝統的な左官の磨きの技を応用したもう1つの泥だんご。その磨きの技は鏡面のようななめらかさを出せる「大津磨き」といい、本来水には弱い土壁に雑巾がけが可能というものです。左官職人の技量・労力が最も必要とされる難しい技でしたが、従来用いられた消石灰の代わりに生石灰クリームを使うことで、現代風なアレンジを可能にしたものが「現代大津磨き」。この手法を考案された方は、東京・千石で長年左官職人をされていた榎本新吉氏です。土へのあくなき探究心をお持ちで、左官やインテリアの業界で大津磨きと言えばこの方といわれるほど有名人で



子どもたちが完成までの根気のいる作業に集中して取り組む姿は、情操教育の観点からも注目されました。市販の制作キット以外に一輪ごとに加工した作品が販売されることもありますが、自作する過程に意義があり、手に入れた人はやはり自ら体験してみましょう。大人もはまります



左官職人の熟練の技が光る、漆喰銀絵が施された「栄光玉・龍」中村一夫氏作(伊豆長八美術館展示作品)

す。仕上げの石灰クリーム(ノロ)には色土や色粉で着色ができるため、この手法を使って作る泥だんごは土のみの作品に比べて色鮮やかで作品の幅が広がってまた魅力的です。



光る泥だんごの出来を左右するポイントは、なんといっても真円性と光度。まん丸くピカピカに光らせることができれば達成感も宝物感もひとしおです。腕に覚えのあるヒカラー(所長が勝手に命名)が競う「光るどろだんご大会」も、年1回催されているそうですし、芸術性や大きさまで極めた超上級者の殿堂入り大作の例もあります。(写真:上2枚)

現在、「ピカピカ泥だんご」とか「輝くドロ団子」というような別の呼び名のもので、この2手法のどちらかが基本となり、これにアレンジが加わったもののようです。左官の組合活動の一環としてはもちろん、全国各地で様々な教室が開かれ、また制作キットも市販されていたりしますので、興味のある方は調べて挑戦してはいかがでしょうか。



ものつくり大学の学生達が1か月がかりで製作した直径54cmのギネス級「泥玉」(INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」展示作品)

当研究所でも今回のリサーチにあたり「光るどろだんご大会」の審査委員長をされている土絵作家の三木きよ子さんに作り方を教わり実地検証してきました(写真:裏表紙・中央の2つが研究員作、他は三木先生作)。次回は泥だんご作り方編を紹介します。

ケンセツ文化度判定

- ◆ オリジナル度 ★★★★★
- ◆ カラフル度 ★★★★★
- ◆ はまり度 ★★★★★☆
- ◆ 年齢不問度 ★★★★★☆

リサーチメモ: INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」(愛知県常滑市)(<http://inax.lixil.co.jp/clayworks/>)は、外壁や内装仕上げなどに土をふんだんに使った建築で、土の無限の表情と魅力を体感することができます。「光るどろだんごづくり」体験教室を毎日開催。楽しみながら技を競う「光るどろだんご大会」も行われます。

KENSETSUJYO SHINKOU

建設業 しんこう

Jul. 2011 No.427 7

<http://www.yoi-kensetsu.com/>



ケンセツ文化総合研究所

ケンセツ文化総研 **認定** コレクション No.4
光る泥だんご(現代大津磨き)



詳しくは本誌P.54をご覧ください。

(財)建設業振興基金
内田新理事長に聞く
建設業界から求められる基金像 ○ 2

「建設産業の再生と発展のための
方策2011」について・前編
国土交通省 土地・建設産業局建設業課 ○ 4

特別企画
建設技術・技能伝承のルーツを訪ねて
～左官発祥・発展地編～
[第3回]
(財)建設業振興基金 ○ 11

●『建設業界ガイドブック2011』の発行について ○ 47

● 新連載

●「平成22年度 国土交通省
専門高校実践教育導入事業
建設業人材確保・育成モデル事業」の取り組み紹介
[第1回] 宮城県—災害をテーマとし実践力を育成
(財)建設業振興基金 ○ 23

● 好評連載

●提唱 自転車利用の増進を目指した
エコなまちづくりと発展の可能性 (下)
(株)住信基礎研究所
研究理事 古倉 宗治 ○ 18

●中小建設業のための元気回復講座
[第20回] 総括座談会～地域の安全・産業・雇用を
担う建設業の存続・発展のために～その1
(財)建設業振興基金 ○ 26

●中小建設業・専門工事業の海外展開講座
[第2回] 地方・中小建設業の中国進出
—上海視察レポート—
NPO中小建設業海外活動促進支援会
副理事長 庄司 憲生 ○ 30

●建設分野をめぐる
全国各地の多角的挑戦レポート
[第5回]雲仙普賢岳「大火砕流」
～復興工事の進展とこれからの課題～ (その1)
日刊建設工業新聞社 ○ 34

●シリーズ・建設企業のたゆまめ挑戦
組織コミュニケーションと地域コミュニケー
ションの向上による事業展開力強化法
[第5回] 受注後、プロジェクトをうまく進め
るための社内コミュニケーション
(株)日本コンサルタントグループ
建設産業システム研究所 所長 加藤 浩之 ○ 38

●これだけは知っておきたい！
基本マナーと一般常識
[第5回] 電話応対
(有)関西レディースコーポレーション
ビジネスインストラクター 長尾 裕子 ○ 42

●今月の建設経済
建設業景況調査
(財)建設経済研究所 ○ 44

●ケンセツ文化総合研究所
土の表現探求と土文化の伝道師 ○ 50

●けんせつ歴史館～1枚の写真から～
横浜市立間門小学校
(株)三木組 ○ 53

● COLUMN

News Pick Up ○ 48
ひとりごと ○ 52

表紙写真：カスカイスの教会と広場
(ポルトガル・リスボン県)

カスカイスはリスボン郊外の街。隣市には世界遺産の
シントラがあり、ユーラシア大陸最西端の岬“ロカ岬”
へ向かうバスも出ているなど、一帯が風光明媚なり
ゾート地である。教会に面する広場には、白黒の石畳
が波のように敷き詰められ、目の前のビーチには多く
の観光客が訪れる。 表紙デザイン：山内 宏一郎

ケンセツ文化総合研究所



泥だんご作りで
伝える左官の技術

〈ケンセツ〉×〈左官の技と土〉×〈手から手へ〉
＝ 土の表現探求と土文化の伝道師

今回は左官技法を応用した「現代大津磨き」の光る泥だんご作り方編ですが、指導いただいた三木よ子さんは土絵作家としても活動されています。天然の色土は産地によって実に多様な色があり、色土を使った泥染めという技法もあるほどで、その色土を絵の具代わり、鏝を筆代わりに、段差と厚みをつけて表現する半立体的な絵が三木さんの土絵作品（写真：裏表紙）です。この日本各地の色土を所有し、作品作りに提供してくれたのが、現代大津磨きの考案者で、三木さんの師匠である左官界の重鎮・榎本新吉氏です。「土の表現方法を探求されている榎本さんとは16年前に出会いました。作業場は日本全国の土が集まり、とりわけ「左官屋が虎を描くと猫になる、左官職人はデザイナーと組んで仕事をするべき」という榎本さんの「路上工房」には美術系の学生さんなどたくさんの方が出入りしていました。」

榎本さんはテキスタイルデザインの経験があった三木さんにも感じるものがあったようで、また三木さん自身も土の魅力に触発され、今や榎本流「現代大津磨き」の正統後継者として伝道活動に忙しい日々を送られています。

泥だんごの芯の調合は「土：珪砂：スサ＝1：1：1」。土壁を作る割合と基本は同じことから「丸い壁」とも呼ばれます。今は「左官」と言ってもなんだか分からない子も多いとか。三木さんは「だんごじゃなくて職人さんと同じ“丸い壁”を作るんだよ」と子どもたちに教えているそうです。

榎本さんの土への情熱に端を発し、左官とは全く関係のなかった三木さんへとバトンが渡され、より多くの人たちに土の魅力・左官の文化を伝えているこの流れを、“ケンセツ”と“異分野”と“人”が発展的融合した有形・無形のケンセツ文化とカテゴリライズしました。



夏休み期間の三木先生のワークショップは毎日盛況



日本各地で採取された色土のごく一部

光る泥だんご(現代大津磨き)作り体験記

- 材料A** 芯地…土：珪砂：藁スサ※1(1:1:1)
材料B 砂漆喰…土+生石灰クリーム：珪砂(1:1)
材料C ノロ…土：生石灰クリーム(1:1)色粉で着色可

- ・砂漆喰とノロには使う際に糊を足します。
- ・ちょっとした小道具が各種必要
- ※1：スサ…土製：漆喰壁のつなぎの繊維質の材料の総称。藁や麻など
- ※2：ハイフレックス…モルタル用接着剤 建材屋で入手
- ※3：タルク…ろう石の粉



1 水に**材料A**を混ぜダマにならないようよくこねる。ピンポン玉サイズに取り分け、水分を飛ばす(自然乾燥か電子レンジも可)。



2 水分が飛んで扱いやすくなったら手で転がして球状にし、また乾かす。だんごの上にへらなどで同じ材料を盛る。

作業は円形の台座の上で行う。



3 盛った土を均等にならしていく。左のような小道具を使って、くるくるなでると楽に塗れる。



4 半球ずつ行い、また**3**の作業を繰り返し大きくしていく。好みの大きさになったらしっかり乾燥させる。



5 円形型のノコギリ刃で球形の表面の凸凹を全体的に削っていく。



6 さらに瓶の口を使ってより真円に近づける。
ポイント この段階を丁寧に行うかが出来を左右する。



7 表面に飛び出た藁スサを火で焼き取っておく(コンロかガスバーナー)。



8 薄めたハイフレックス※2に全体を浸して土を定着。**材料B**を3回、**材料C**を2回塗布し、乾燥させると下地が完成。



9 仕上げ開始。好きな色に着色した**材料C**(色ノロ)をへらなどで全体に薄く塗りつける。



10 フィルムケースを使い余分なノロを取る。表面が白っぽく乾くまで少し待つ。**9****10**の作業を2.3回繰り返す。



11 まさかのオリーブオイル塗布。表面に数滴垂らし、全体になじませて、さらに磨いていく。



12 ガラスのお猪口や細口のコップを表面にあて円を描くようにやさしく磨く。



13 軍手にタルク※3をつけて全体にまぶし、お猪口や細口のコップで今度は少し強めに磨く。



14 磨き込んだ完成品。顔が映り込むほどピカピカに。

完成!!

三木先生のワークショップでは、作り置き土台からスタートし後半の磨きに専念できる「磨きコース」と、全手順を教わる「極めコース」を用意。三木きよ子先生についてのお問い合わせは「建設業しんこう」事務局までご連絡下さい。

KENSETSUJYU SHINKOU

建設業 しんこう

Aug. 2011 No.428

8

<http://www.yoi-kensetsu.com/>



ケンセツ文化総合研究所

ケンセツ文化総研 **認定** コレクション No.5
天然の色土で描く「土絵」



詳しくは本誌P.50をご覧ください。

ひとりごと

先日「がっちりマンデー」(TBS)の“わが社のスゴ局さま・女職人さん特集”という番組を見ていたところ、丁寧な仕事ぶりが高い評価を受けている宮大工の浦野さん(小松市・白井大工)が、4度断られても粘って入職したというエピソードとともに紹介されていました。そしてこの番組のゲストが、最後に女性の進出が望まれる職業として挙げたのが、“アート要素も強い左官”。しかし日本建築に携わる職人の活躍の場が激減している建設業界、身近にある左官仕事をさがしてみても、ビルや集合住宅の生活圏で見つけることはたやすくもないのもまた事実。そんな中、当事務所近隣の名刹・萬年山青松寺(港区愛宕)の座禅堂等に大津磨きがあるというので、拝見すべく参禅させていただきました。赤い坐禅堂の床や青い観音聖堂の大壁の大津磨きなどのような、大きな平面への磨きを均一な層に仕上げる労力は「光る泥だんご」の比ではなく、榎本新吉氏監修のもと、多くの名工の手で仕上げられたものです。この左官界伝説のビッグプロジェクトの踏み心地と煩惱減却を、皆さんも同時体感されてはいかがでしょうか。初心者も参加できる月例座禅会を行っております。詳しくは青松寺HPをご覧ください。(A)